

# 新春を駆け抜ける

文化  
なかの



～太鼓の響きの中でゴールイン～

中野市公民館報

2011  
No.71  
(通巻 No.603)

発行  
中野市中央公民館  
編集  
文化なかの編集委員会

〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
TEL 0269-22-2691  
FAX 0269-26-2342

## 新春のつどい

豊田公民館は1月2日(日)豊田文化センター駐車場で「新春のつどい」を開催しました。

新春の恒例行事となったこの企画は、「新春走り初め大会」とあわせて行っています。朝まで降り続いた雪は、開始時間には止み、青空が少し顔を出しました。約100名の参加者は白い息を弾ませ、故郷太鼓の演奏が鳴り響く中、スタートし、1.6キロのコースを、速い子は約6分程度でゴールしました。

走りきった後は、濡れた靴に頬を赤くした子どもたち。振る舞われたキノコ汁で、体を芯から温めていました。

今月号の特集

ものづくり

体験を楽しむ

## あおぞら

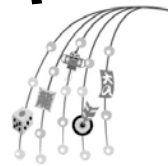
茨城県北茨城市。仕事から地方を訪れる機会が多いが、この地ほど、訪問前後でイメージが変わった所はない。

昨年、中野市の交流活動で初めて訪れた。中山晋平と組んだ作詞家野口雨情の生誕地である。その縁で中野市と姉妹都市になっている。(ちなみに大分県の竹田市もそう)私を含め知らなかった人は多いはず。

とにかくこの地、すぐ隣は福島県とはいえ、関東。季節は真夏、しかも太平洋岸沿い。中野より暑いに決まっていると思いきや、信じられないほど涼しくて快適だ。「今日はたまたままでしょ？」と「さわやか信州」の面子にかけて尋ねると、期待に反して「いつもだよ。ここは知る人ぞ知る避暑地だよ」調べると夏の最高気温が30度を超える日と冬の最低気温が0度以下になる日がほとんどない。気候以外に、景色も素晴らしい。水平線から昇る太陽は必見。海の幸、山の幸有り、歴史、観光、文化も豊富。できるなら今すぐ行きたい温泉宿。今の時期、あんこう鍋のおいしさは期待通りにちがいない。

わが中野市もこうした感動を与えられる地でありたい。(E)

# 伝統行事を後世に



「ものづくり」は年の初めに豊作を願って行われる伝統行事です。昔は石臼で米をひき、米の粉を練ってふかして団子にしました。まゆ玉、稲穂、ナス、カボチャ、キュウリ、ササゲのほか、小判や大黒さま、恵比寿さまなども団子で作り、ミズキなどの枝に刺したり吊るして茶の間の柱に飾りました。公民館では、伝統行事を後世に伝えるため、3館でものづくり体験を行いました。

世代間交流事業として

## 西部公民館

1月8日(土)に15名の参加者と講師、専門委員の指導で開催しました。

米の粉を練りふかした後、赤や緑などの色を付け、米俵や野菜、今年の干支のウサギなどを作って、木に小判やタ

イの小物と一緒に飾り付けました。

家に持ち帰った子どもたちは、地域のどんど焼きで、家族の健康を願いながら火であぶった団子を食べたそうです。



もうすぐ完成です



みんなでこねました

## 豊田公民館



作り方を教えていただきました

信州中野ふるさと交流団の指導で、親子連れなど40人が参加し、1月8日(土)にもみじ荘で開催しました。

みんなで、米粉を練ってふかして団子にし、まゆ玉、ササゲ、ナスなどの形にして作り、木の枝に刺して飾りました。この他に小判や大黒さま、恵比寿さま、小ぶりのリングも木に吊るしました。

なかには、今年の干支のウサギや、人気アニメのキャラクターを作る子もいて、1時間ほどかけて完成した作品は、どれも力作ばかりでした。

## 北部公民館



親子一緒に作りました

親子体験教室「あるある探検隊」の一環で、1月15日(土)にもものづくり、やしようまづくりを行い、15名が参加しました。

子どもたちは思い思いに米粉を形作り、赤岩M21の会員に用意してもらったミズナラの枝に付けていました。公民館の入り口にも大きな枝を用意してもらい、昔ながらの伝統を感じる事ができました。

参加者は普段、粉をこねて食べ物をつくる機会がないようで「ものづくりもやしようまも、家でやりたい」「やしようまを作るとき、とても楽しかった」など、とてもはしゃいでいました。



# 平成22年度 分館報コンクール

中央公民館は1月21日(金)、平成22年度分館報コンクールを開き、最優秀賞に間山分館を選びました。

コンクールは広報活動を通じた分館活動の活性化と、地域社会の連携を目指し、毎年行っています。

今回は29分館、1地区協議会が定期発行する広報誌が集まり、中央公民館分館協議会正副会長、文化なかの編集委員会正副委員長、公民館非常勤主事会正副会長など7人で審査しました。



審査会の様子

最優秀賞の間山分館は、平成22年中は2ヶ月毎の6回発行しており、内容はA4版サイズ8ページに、入学した子どもや新人を取り上げるなど常に地域の話題を掲載しています

審査員からは、「地域の情報が豊富であり、紙面から住民が参加している姿がよくわかる」との評価がありました。

ほかに、今回初めて応募があった田上分館の壁新聞については、「今ではなかなか見なくなつたが、分館の行事などを時期にあわせて出している。原点に戻つたようで、とても懐かしい感じがした」と好評でした。表彰は、2月26日の分館長主事研修会に行きます。

## 【審査結果】

- ▼最優秀賞 間山分館
- ▼優秀賞 田上分館
- ▼優秀賞 栗和田分館
- ▼優秀賞 東吉田分館
- ▼優秀賞 大熊分館
- ▼優秀賞 上小田分館
- ▼優秀賞 栗林分館
- ▼優秀賞 中町分館
- ▼優秀賞 吉田分館
- ▼努力賞

## 平成23年度

# 中野市成人式

平成22年4月2日〜平成23年4月1日生まれの方が対象となります。なお、平成23年2月1日現在で、中野市に住民登録している方を対象に案内状をお送りします。

現在、市外にお住まいの方で中野市成人式に出席を希望される方は、事前に中野市中央公民館までご連絡下さい。

また、平成23年度の成人式の企画運営は、各地区から選出された24名の新成人による実行委員が行います。

実行委員は、昨年の11月から毎月1〜2回のペースで会議を行っています。

実行委員長の徳永貴規さんからは、「楽しい企画を考えています。お楽しみに」とメッセージがありました。



成人式実行委員会のメンバー「待ってます!!」

**日時** 5月4日(みどりの日)  
**時間** 午前9時30分 受付  
 午前10時 開式  
**場所** 中野市市民会館

# こんにちは 分館

平成5年、長嶺ニュータウンの名称で発足した我が長嶺区は、17年を経た現在、293戸の団地となりました。

## 長嶺分館

最初は(多分)全て手探りだった当分館事業も、最近は球技大会、夏祭り、敬老会、文化祭、もちつき、どんど焼き、などの各行事も定着した感があり、住民同士、あるいは世代間の交流の場として機能を発揮しております。



神輿も子ども祭りの夏祭り

り念願でありました夏祭りの「子ども御輿」が新調されました。コミユニティー助成による交付金を得て、専門業者により製作された長嶺オリジナルのこの金色の御輿は、夏の強い日差しの下、子どもたちの掛け声もいつもより強く、まぶしくらい輝いておりました。子どもたちも元気に区内を練り歩き、祭りを大いに盛り上げました。

年間を通し一連の行事を抱え、分館は忙しく活動しておりますが、それぞれの行事が本場にこの地のものとなるように、区民が本当に楽しめ、多くの人が参加できるように、さらに努力して行きたいと思っております。

(分館長

大沼正男)

## ふるさとこの歴史

昭和六四年一月に始まった七瀬住宅団地の宅地造成工事は、四〇億七千万円をかけて平成三年一月に二七四区画の造成が完了。翌四年八月までに抽選を経て、市内在住者三〇割、県内五〇割、県外二〇割の方々によって購入された。

平成四年一〇月三十一日、区を立ち上げるため第一回「土地(宅地)所有者会議」が開かれ、区結成準備委員会の役員選出がおこなわれた。広い地域からの集まりであったので、区運営経験豊かな中町区から入居された肥田委員長、西沢副委員長、それに徳武副委員長が選出された。この役員を中心に新区立ち上げの努力が始まったのである。

平成五年四月二〇日、準備委員会が開かれ、区構成にむけた課題の具体的な検討が始まった。①区の正式名称、②班および組の範囲決定と班長・番組長の選出、③区規約の構成(中町区規約をモデル)、④監査・衛生・公民館・安協・保健補導員・育成会などの役員の選出、⑤区費の額と徴収方法の決定など多岐にわたった。区民の意見を聞きながら秋までに準備委員会を何度も開き、役員は多忙をきわめた。

## 長嶺区の発足

平成五年九月二三日、「長嶺区設立総会・祝賀会」が、市によって建設された長嶺区集会所に、市長・議員・関係区長など多くの来賓を迎えて盛大に開催され、旧中野市六〇番目の区がスタートしたのである。

平成六年二月には、長嶺分館も平野地区分館協議会の正式メンバーに加わり、久保田分館長・高山主事を中心に、区の花見大会、育成会花火大会、敬老会、バーベキュー大会、同和教育懇談会などを開催、区民としての親睦意識が芽

生えてきた。また、平野地区分館対抗のソフトボール大会、ソフトバレー大会にも参加し、終了後は全員参加の慰労会もおこなって、区民の親睦はいよいよ深まった。

新しい区民生活が軌道にのるまでには、いろいろな課題への対応が求められた。宅地購入・住宅建設という人生の大事業を成し遂げたあとだけに、要求を投げかけられるのも当然のことでもあった。たとえば、区運営の掌にあたった経験のない若い世代からは、区費の額と使途の件、また共働きの必



長嶺区から北信五岳を望む(長嶺分館提供)

要から託児施設設置の要望などが寄せられた。これらに対して区長・副区長が説明に向き、また市役所との交渉にあたった。託児施設は、市と相談のうえ、経験を待つ区内女性にお願いして開設。

広い地域から顔の見知らぬ者同士の集まりであったので、心の通じ合う仲間づくりが求められ、役員が「名もない会」と銘うって希望者を募って、花見にでかけたりもした。

こうした努力の積み重ねによって、長嶺区がりっぱにスタートしたのである。

(阿部敏明)

# 今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

|       | 講座名  | 日時                              | 場所                    | 講師                                 | 備考   |
|-------|--|---------------------------------|-----------------------|------------------------------------|--|
| 中央公民館 | 近代文学講座<br>「金子みすゞ<br>やさしさと悲しみと」             | 2月19日(土)<br>午後1時30分～<br>午後3時30分 | 中央公民館<br>講堂           | 近代文学研究者<br>堀井 正子 先生                | <受講料>無料<br><申込み>不要   |
|       | 大人の朗読会<br>～第1回朗読<br>フェスティバル<br>IN NAKANO～  | 3月20日(日)<br>午後1時30分～<br>午後3時30分 | 勤労<br>青少年ホーム<br>集会室   | おはなし<br>ネットワーク<br>☆NAKANNO<br>の皆さん | <受講料>無料<br><申込み>不要<br>*中学生以上ならどなたでも参加い<br>ただけます。   |
|       | <b>公民館ギャラリー 中野短歌会の短歌展</b>                  |                                 |                       |                                    |  |
| 北部公民館 | 高齢者大学(公開講座)<br>始めましょう!介護予防<br>守りましょう!自分の権利 | 2月15日(火)<br>午後1時30分～3時          | 北部公民館<br>1階 会議室       | 市地域包括支援<br>センター                    | <受講料>無料<br><持ち物>なし<br>*申込み不要でどなたでも参加い<br>ただけます。  |
|       | 冬の里山をあるこう!<br>①ネイチャー<br>カンジキをつくろう!         | 2月17日(木)<br>午後7時～午後9時           | 北部公民館<br>1階 会議室       | いわすげ<br>ネイチャーセンター<br>畔上 正雄 先生      | <受講料>無料 ただし、材料費<br>として1,500円<br><持ち物>なし<定員>15名<br><申込み>2月10日(木)まで  |
|       | 冬の里山をあるこう!<br>②里山をあるこう!                    | 2月20日(日)<br>午前10時～正午頃           | 北部公民館<br>集合<br>高社 山山麓 | いわすげ<br>ネイチャーセンター<br>畔上 正雄 先生      | <受講料>無料 ただし、保険料<br>は実費となります。<br><持ち物>カンジキ・ストック<br><定員>15名<br><申込み>2月10日(木)まで<br>なお、詳細についてはお申し込み<br>後にご連絡いたします。 |
| 西部公民館 | シニア大学<br>考古学への招待                           | 2月18日(金)<br>午後1時30分～午後3時        | 西部公民館                 | 市立博物館館長<br>中島 庄一 先生                | <受講料>無料<br>*どなたでも参加できます。   |
|       | シニア大学<br>悪徳商法の手口と<br>その対処法(寸劇付)            | 2月25日(金)<br>午後1時30分～午後3時        | 西部公民館                 | 県長野消費生活<br>センター<br>北信雑技団の皆<br>さん   | <受講料>無料<br>*どなたでも参加できます。   |
|       | シニア大学<br>藤村とその女性たち                         | 3月4日(金)<br>午後1時30分～午後3時         | 西部公民館                 | 県警察行政委員会<br>副会長<br>土屋 誠之 先生        | <受講料>無料<br>*どなたでも参加できます。   |
| 豊田公民館 | リズムで遊ぼう                                    | 3月18日(金)<br>午前10時30分～正午         | 豊田公民館                 | ドラムサークル<br>諏訪代表<br>原 房子 先生         | <定員>15組<br><受講料>無料<br><内容>楽器を使ったリズム遊び<br><対象者>2歳以上の未就学児と<br>その保護者  |
|       | バードウォッチング                                  | 3月22日(火)<br>午前8時～午後1時           | 豊田公民館<br>集合           | 信州野鳥の会<br>出野 富永 先生                 | <定員>10名<br><受講料>無料<br><内容>鳥の屋外観察<br><対象者>市内小中学生<br><持ち物>水筒、双眼鏡(持って<br>いる人)メモ帳<br><服装>あたたかい服装                   |
|       | 親子クッキング教室                                  | 3月23日(水)<br>午前9時～午後1時           | 豊田公民館<br>集合           | 矢沢 玉枝 先生                           | <定員>15組<br><食材費>一人350円<br><対象者>市内小中学生と保護者<br>(小中学生のみでも可)<br><持ち物>エプロン、三角巾、タッパー<br><申込み>3月17日(木)まで              |
|       | 星空をみよう                                     | 3月26日(土)<br>午後7時30分～午後9時        | 北信濃<br>ふるさとの森<br>文化公園 | 信州中野<br>天文同好会<br>のみなさん             | <定員>20組<br><受講料>無料<br><内容>プラネタリウム観覧、星の観望<br><対象者>どなたでも<br>中学生以下の方は保護者同伴<br><申込み>3月18日(金)まで                     |





青空に映える／一本木(H21撮影) (月岡尚雄)



冠雪／一本木公園 (月岡尚雄)



真冬の夜空に月の兎／市内 (ルナルナ)



冬の替佐城址／もみじ荘 (ちから)

## 花と季節の写真募集

宛先

☎ 383-0025  
 中野市三好町一丁目4番27号  
 中央公民館  
 ☎ 22-2691  
 Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。  
 氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

## 季節のコラム

信州人たるもの、スキーと山登りはできないければならない。そして他県の人に指導するのだ。高校時代の恩師の言葉だ。  
 かなり強引ではあるが、なるほど、そうだったと思うこともある。  
 冬に来訪するときはやはり、スキーに行ってみたいという人が多い。ではいつしよに行つて滑ろうか、ということになる。こんなとき、昔滑れるようになっておいて良かったと思う。  
 一方、山登りは苦手だった。山登りをするから付き合つてほしいと頼まれることもなかった。  
 しかし近頃は、里山を無理なく歩けるウォーキングコースが、あちこちに整備されている。木々を渡る風の音や鳥の声、景色を眺めながら歩くのはとても楽しい。  
 そう考えていくと、先生の言葉は、地の利を生かした楽しみ方を教えてくれていたと感ずる。